

# 令和5年度 秋季一般入学者選抜試験

## 小論文試験問題

### 注意事項

1. 開始の合図があるまで、開かないこと。
2. この問題冊子は6枚綴り、問題は片面に印刷されている。
3. この問題冊子は持ち帰ること。
4. 解答用紙は必ず提出すること。
5. この試験の問題は、ただ1つ特定の正解が存在することを前提とするものではない。また、解答者の思想・信条を問うものではない。

### 解答記入上の注意

1. 解答は、黒、青、ブルーブラックのボールペン（プラスチック製消しゴム等で消せないもの）又は万年筆で記入しなさい。
2. 解答は横書きにして、原則としてマス目に1字記入しなさい。
3. 加筆・訂正・削除は、その記入方法も含めて自由とする。ただし、修正液・消しゴムなどを使用してはならない。
4. 加筆・訂正・削除をした場合は、それらを含めて、完成後の答案が字数の制限内に収まるようにしなさい。
5. 読みやすい答案となるよう心掛けなさい。

## 問 題

以下の【1】から【3】の文章を読み、下記の問題に答えなさい。  
（〔問1〕と〔問2〕の配点割合は、4：6）。

【1】2022（令和4）年5月15日日本経済新聞「文化時評 小説が問う「あさま山荘」の核心」より抜粋（試験問題用に形式的な修正をしてある）

著作権法により公開していません

著作権法により公開していません

【2】柄谷行人『倫理21』（平凡社ライブラリー，2003年）（初出は1996〔平成8〕年）より抜粋（下線は出題者が付した）。

著作権法により公開していません

著作権法により公開していません

【3】円地文子『食卓のない家』（中公文庫，2022年）における篠田節子（作家）の解説の抜粋（試験問題用に形式的な修正をしてある）。

著作権法により公開していません

著作権法により公開していません

〔問 1〕

柄谷行人は、上記著書『倫理 21』において、「道徳」を「共同体的規範」の意味で用い、「倫理」をこれとは別の意味で用いている。柄谷によれば、このような「道徳」と「倫理」の区別は、一般的に承認された定義に従った区別ではないという。

柄谷が用いる「倫理」とは、どのような意味であると考えられるか。必要に応じて、【2】の文章を適宜引用しつつ、600字以上800字以内で論じなさい。

〔問 2〕

あなたが、以下の事例におけるXの立場に置かれた場合、Cからの相談に対し、どのような助言をするか、あり得る反論を想定しつつ、1000字以上1200字以内で論じなさい。

【事例】Aは、地方国立大学である甲大学の法学部教授であり、2022（令和4）年4月からは、同大学の法学部長を務めていた。2022（令和4）年某月某日、Aの子息であるB（30歳。中学校教員）が殺人の容疑で逮捕された。同事件は、中学校教師による殺人事件として、全国的に大きく報道された。報道の中ではBの実名が公にされ、インターネット上では、BがAの実子であることも明らかにされた。

その後、甲大学には、Aの責任を糾弾する抗議の電話や電子メールが殺到した。その内容は、殺人犯の親が教育者の地位にあるべきではなく、Aは甲大学教授を辞職すべきであるとか、少なくとも法学部長を辞任すべきであるとかというものであった。インターネット上のSNSでは、Aの顔写真があちこちでアップされるとともに、同人の責任を厳しく糾弾する指摘が溢れ返った。中には、Aが法学部長の地位に留まるのであれば、甲大学に爆弾を仕掛けるとか、同大学のネットワークシステムを破壊するためのサイバー攻撃をするとかというものさえあった。

また、高校生の親からの批判も数多く寄せられた。その内容は、「自分の子供は甲大学法学部を受験する予定であったが、Aが法学部教授や法学部長を続けるのであれば受験させない」などというものである。

甲大学では、入学者選抜（入学試験）の受験者数が数年前から漸減しており、その増加が重要な課題とされ、全学的に対応策を講じてきていた。折しも入学者選抜の出願時期が迫っていることもあり、甲大学学長は、Aに対し、出处進退を考えるよう促した。

思い悩んだAは、同居家族（配偶者と子C）に相談した。Cは、すぐには自分の考えをまとめることができなかつたため、「しばらく考える時間が欲しい」と答えたいうえで、友

人であるXに相談した。Xは、将来の進路として、法曹実務家になることを希望しており、これまで法学を深く学んだことはないが、法科大学院未修者コース（3年コース）に進学する予定の者である。

なお、インターネット上では、Aの自宅住所が特定されたため、Aの自宅にも抗議の電話が相次いだだけでなく、「恥知らず」「無責任」「人でなし」などと記した貼り紙が貼られたり、ときには投石がされることもあった。

#### 【解答作成上の留意点】

I 本問は、解答者の思想や信条を問おうとするものではない。また、法知識の有無を問おうとするものでもない。

II 〔問1〕〔問2〕は、それぞれ独立のものとなし採点する。必要な場合には、他の解答欄に記述したことで繰り返して記述しなさい。

#### 【出題趣旨】

〔問1〕は、文章読解力を問う問題である。柄谷行人が、『食卓のない家』の主人公や、水俣病問題におけるチツソの技術者を題材として「倫理」を論じる文章から、同人が用いる「倫理」の意味を、「道徳」と比して読解し、かつ、その内容を規定の文字数で簡潔に表現する能力が要求される。

〔問2〕は、思考力と文章表現能力を問う問題である。具体的な想定事例を素材として、世間の圧力や、レピュテーションリスクの管理と、個人（及びその自由・独立）の尊重との衝突という、現代日本社会において頻発する可能性がある問題に関し、法曹を目指す立場の視点から、具体的な対処のあり方やその基盤となる考え方について思考し、その内容を的確に表現する能力を評価するものである。